

2021年10月25日

各位

会社名 株式会社レナサイエンス
代表者名 代表取締役社長 内藤 幸嗣
(コード：4889 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理管掌兼管理部長 池田 和博
(TEL. 03-6262-0873)

RSAI01の共同研究及び事業化に関する契約に基づくマイルストーン達成のお知らせ

当社は、2020年7月にチェスト株式会社（以下、「チェスト社」）と締結した、呼吸機能検査診断の共同研究及び事業化に関する契約（以下、「本契約」）について、テストモデルの検証が両社で確認され、POCモデルに着手することを両社で合意し、マイルストーンを達成いたしましたので、お知らせします。今回の達成は、本契約において予め設定されていた条件に基づくものです。

スパイロメトリー等の呼吸機能検査は、呼吸器疾患の診断や重症度評価、効果判定に有用な検査法です。しかし、正しく検査を行えたかを判断し、正しく結果を解釈することが非専門医には困難です。非専門医でも簡便に結果解釈をサポートできるシステムの開発は、呼吸器疾患を正しく診断し、早期治療を行う上で重要な医療課題と考え、呼吸機能診断システムの開発に取り組んでいます。

本件につきましては、上場時開示資料「事業計画及び成長可能性に関する事項」37頁においてお示した、今後の開発計画スケジュールのとおりに進捗しております。

なお、本件に関する2022年3月期業績予想への影響等は、現時点では特にありません。

以上

<ご参考>

【チェスト株式会社】

チェスト株式会社は1965年の創業以来、一貫して呼吸器系医療機器の専門メーカーとして機器開発に取り組んでいます。その中核を担う呼吸機能検査装置CHESTACをはじめ、利用シーンに合わせた多種多様な装置を販売しています。また近年では、呼吸抵抗を安静呼吸で測定できるMostGraphを開発し、学会指定の研究会として開催をしています。同社はこの事業を主力事業として位置づけ、呼吸器領域での信頼と実績を積み重ねています。

詳細は同社のホームページ <https://www.chest-mi.co.jp> をご覧ください。

【スパイロメトリー】

スパイロメトリーとは、苦痛を伴わずにできる簡単な呼吸機能検査、被験者が吐き出す息の量と吐き出す時間を測定する。慢性閉塞性肺疾患（COPD）及びその他の肺の病気の診断に重要な検査。

【POCモデル】

POCモデルとは、Proof of Concept（概念実証）を目的としたプログラムです。主に新たな理論やアイデアなどを開発、実践する際、前段階において本当にそれが実現可能なのかを確かめることを目的としたプログラムの開発を進めます。POCモデルが完成し、概念実証が証明された場合には、実用化モデルへの開発へ進めることが可能となります。